

学科としての教員養成の目標、計画、教育の質向上の取り組み

工学部 電気電子工学科（高一種免（工業））

① 教員養成の目標

福山大学は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、幅広い知識とともに深い専門の学芸を身につけ、知的・道徳的及び応用的能力を展開できる、人格円満で教養の高い有為な人材を育成することを目的としている。その目的のもとで、工学部では、各専門分野における高度な工学専門知識・技術を習得し、広い視野と豊かな人間性を備えた実践的な技術者を養成し、各専門分野における新しい技術を創造する。また社会安全工学教育にも重点をおき、社会に貢献する人材の育成を目的としている。

電気電子工学科では電子・電気分野の技術を基礎として、安全で豊かな社会の構築と、公共の福祉の増進を目的とした「防災」「エコロジー」「医療」「福祉」「環境保全」を目指した高機能システム・社会を実現するための研究と教育を行っている。幅広い知識と応用力を身に付け、技術者倫理を自覚し社会貢献ができる高等学校工業教諭（第一種）の育成を目指している。

② 教員養成の計画

教員養成の目標を達成するために、大学4年間において、語学、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目などを系統的に教授できるようなカリキュラムを計画している。

電気電子工学科では、電子・電気工学、制御工学およびロボット工学などの工学技術を学ぶとともに、安全・安心社会を築くための社会安全工学の学習を必修としている。また、社会貢献や技術者倫理などの科目を通して社会における自らの役割を自覚して自己表現できる人材の育成に取り組んでいる。さらに、組み込みシステムなどのコンピュータ技術を核とする高機能システムを具現化し、価値的に統制・制御するための基礎技術を習得することにより、階層化され分断される知識や技術の橋渡しとなり、次世代へのバランスのとれた継承と新しい展開を推進できる教員養成を計画している。

③ 教員養成教育の質向上の取り組み

学内に設置された教職課程委員会において、科目の担当者、シラバス、時間割、教育実習校への視察、教員免許申請の可否など、教職課程の運営や教職指導の内容について討議し、教員養成教育の質を向上させる取り組みが行われている。各学年の教職課程履修学生に対し、学科の教職課程担当教員が個別に履修指導、教職指導を実施している。とくに、4年次の教育実習においては、実習期間中に実習校に赴き、実習校の指導教員とともに実習内容の充実を図っている。
